

令和5年クリーニング師試験問題

【令和5年10月8日：岩手県】

《衛生法規に関する知識》

問1 次の文は、クリーニング業法、クリーニング業法施行令及びクリーニング業法施行規則（以下「クリーニング業法等」という。）について述べたものであるが、（ ）内のうち正しいものを選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

（5問×5点＝25点）

- (1) クリーニング業法は、クリーニング業に対して、【解答欄(1)】(①公衆衛生 ②社会福祉)等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- (2) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して【解答欄(2)】(①罰金 ②禁錮)以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。
- (3) クリーニング所の開設届出をした営業者について相続があったときは、相続人(相続人が2人以上ある場合において、その【解答欄(3)】(①半数 ②全員)の同意により当該営業を承継すべき相続人を選定したときは、その者)は、当該届出をした営業者の地位を承継する。
- (4) 洗場については、床が、【解答欄(4)】(①浸透性材料 ②不浸透性材料)で築造され、これに適切な勾配と排水口が設けられていること。
- (5) 都道府県知事が必要があると認めて実施する立入検査を拒み、妨げ、又は忌避した者は【解答欄(5)】(①2千円 ②5千円)以下の罰金に処する。

問2 次の文は、クリーニング業法に規定する「営業者の衛生措置等」について述べたものであるが、正しいものには○印を、誤っているものには×印を指定する解答欄に記入しなさい。

（3問×5点＝15点）

- (1) 営業者は、公衆衛生上支障がないと判断される場合に限り、クリーニング所以外において、営業として洗たく物の処理を行い、又は行わせることができる。 【解答欄(6)】
- (2) 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び脱水機をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。ただし、脱水機の効用をも有する洗たく機を備える場合は、脱水機は、備えなくてもよい。 【解答欄(7)】
- (3) 洗濯物を洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しておくこと。 【解答欄(8)】

問3 次の文は、クリーニング業法等に規定する営業者及びクリーニング師の義務等について述べたものであるが、【 】の中に当てはまる適切な語句を下の語群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

(5問×5点=25点)

- (1) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、【解答欄(9)】した後1年以内に都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従い指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受けるものとする。
- (2) クリーニング師が免許証を失い、再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、【解答欄(10)】以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。
- (3) クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、営業方法、従事者数その他必要な事項をあらかじめ【解答欄(11)】に届け出なければならない。
- (4) 営業者は、厚生労働省令で定めるところにより、その業務に従事する者に対し、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従い指定した当該業務に関する知識の修得及び【解答欄(12)】の向上を図るための講習を受けさせなければならない。
- (5) クリーニング業法の規定により営業者の地位を承継した者は、【解答欄(13)】、その事実を証する書面を添えて、その旨を都道府県知事に届け出なければならない。

[語群]

- ① 速やかに ② 厚生労働大臣 ③ 経営 ④ 免許を取得 ⑤ 30日 ⑥ 5日
⑦ 直ちに ⑧ 業務に従事 ⑨ 10日 ⑩ 技能 ⑪ 都道府県知事 ⑫ 遅滞なく

問4 次の文は、クリーニング業法等について述べたものであるが、正しいものには○印を、誤っているものには×印を指定する解答欄に記入しなさい。(4問×5点=20点)

- (1) クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び電話番号を店頭に掲示するか、若しくは、洗たく物の受取及び引渡しをしようとする際に、当該事項を記載した書面を配布しなければならない。【解答欄(14)】
- (2) タオルは営業者に引き渡される前に消毒されていないものであっても、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものとして引き渡されたものでなければ、洗濯する前に消毒したり、消毒の効果を有する方法で洗濯したりする必要はない。【解答欄(15)】
- (3) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。【解答欄(16)】
- (4) 営業者は、開設時に届け出た事項のうち、構造設備に変更が生じたときは速やかに都道府県知事に届け出なければならないが、クリーニング師の変更のみであれば届け出る必要はない。【解答欄(17)】

問5 次のクリーニング業に関する制度・法律である(1)～(3)と最も関係の深いものを下の語群から選び、その記号を指定する解答欄に記載しなさい。

(3問×5点=15点)

- (1) 標準営業約款制度 【解答欄(18)】
(2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 【解答欄(19)】
(3) プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律 【解答欄(20)】

[語群]

- ① 安全衛生責任者の配置 ② TS マーク ③ 特別管理産業廃棄物管理責任者の配置
④ ポリ包装(包装用衣類カバー)の重厚化 ⑤ プラスチックハンガーの回収 ⑥ S マーク

《公衆衛生に関する知識》

問6 次の文は、日本国憲法(抜粋)であるが、()内のうち正しいものを選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

(3問×5点=15点)

第25条 すべて国民は、健康で【解答欄(21)】(①社会的 ②文化的)な最低限度の生活を営む権利を有する。

2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、【解答欄(22)】(①社会保障 ②社会生活)及び【解答欄(23)】①公衆衛生 ②生活衛生)の向上及び増進に努めなければならない。

問7 次の文は、クリーニング所における衛生管理要領について述べたものであるが、【 】の中当てはまる適切な語句を下の語群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

(6問×5点=30点)

- (1) クリーニング師は、感染症や災害が発生した場合の【解答欄(24)】(BCP)の策定等に積極的に関与し、感染症や災害が発生した際には、当該クリーニング所において、適切な感染防止対策や災害被害の軽減・復旧等に取り組むこと。
(2) クリーニング師は、利用者利益の擁護を図るため、クリーニング事故の発生防止に努めるとともに、万が一事故が生じた際の対応責任者として【解答欄(25)】を行い、利用者が不当に不利益を被る事態となることがないように努めること。
(3) 洗濯物を乾燥機に移し替える際は、静電気の発生を抑えるため、【解答欄(26)】の容器を利用し、素早く移し替えること。
(4) 有機溶剤の清浄化のために使用されているフィルター等は、反覆使用により溶剤中に溶出又は分散した汚れ、【解答欄(27)】等の吸着・除去能力が低下するので、適宜新しいものに交換し、常に清浄な溶剤が得られるようにすること。
(5) 照明器具は、少なくとも【解答欄(28)】以上清掃するとともに、常に適正な照度維持に努めること。

- (6) 洗濯機、脱水機等の機械、作業台、運搬・集配容器等の洗濯物が接触する部分（仕上げの終わった洗濯物の格納設備又は容器を除く。）は、毎日業務終了後に洗浄又は清掃し、仕上げの終わった洗濯物の格納設備又は容器は、少なくとも【解答欄(29)】に1回以上清掃を行い、常に清潔に保つこと。

[語群]

- ① 経営計画 ② 1週間 ③ 情報の開示 ④ 粉塵 ⑤ 事業継続計画 ⑥ 金属製
⑦ 布製 ⑧ 1年に2回 ⑨ 2年に1回 ⑩ 1か月 ⑪ 原因究明 ⑫ 細菌

問8 次の文は、クリーニング所における衛生管理要領について述べたものであるが、正しいものには○印を、誤っているものには×印を指定する解答欄に記入しなさい。（3問×5点＝15点）

- (1) 指定洗濯物については、その他の洗濯物と区別して消毒するか、又は消毒の効果を有する洗濯方法により処理し、これが終了するまでは専用の容器等に納め、その他の洗濯物と接触しないよう区分すること。ただし、乾燥又は加熱プレスをしないで仕上げを行う指定洗濯物（おしぼり等）については、消毒効果の確認は不要である。 【解答欄(30)】
- (2) 有機溶剤を使用しての洗濯物の処理をする場合には、選定した有機溶剤に水、洗剤等を適量に混合したものを使用し、処理時間、温度等を適正に調整して行うこと。 【解答欄(31)】
- (3) 引火性溶剤については洗濯機や乾燥機等の近くに保管すること。 【解答欄(32)】

問9 次の(1)～(3)の感染症の病原体として正しいものを右の語群から選び、その記号を指定する解答欄に記載しなさい。（3問×5点＝15点）

[語群]

- (1) 伝染性膿痂疹（トビヒ） 【解答欄(33)】
(2) 頭部白癬（シラクモ） 【解答欄(34)】
(3) 風しん 【解答欄(35)】

- ① 細菌 ② ウイルス ③ 真菌
④ 寄生虫

問10 次の文は、クリーニング所における衛生管理要領における消毒について述べたものであるが、()内のうち正しいものを選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

(5問×5点＝25点)

- (1) 界面活性剤による消毒を行う場合は、逆性石ケン液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に【解答欄(36)】(①30℃ ②50℃)以上で【解答欄(37)】(①15分 ②30分)間以上浸すこと。
- (2) 過酢酸による消毒を行う場合、過酢酸濃度150ppm以上の水溶液中に【解答欄(38)】(①40℃ ②60℃)以上で【解答欄(39)】(①5分 ②10分)間以上浸すこと又は過酢酸濃度250ppm以上の水溶液中に【解答欄(40)】(①30℃ ②50℃)以上で【解答欄(39)】間以上浸すこと。

《洗たく物の処理に関する知識》

問 11 次の文は、繊維について述べたものである。【 】の中に当てはまる正しい語句を下の語群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。(17問×2点=34点)

- (1) 植物由来の天然繊維である綿は、着心地の良さから種々の衣料品に使用されている。綿はアオイ科ワタ族の植物の種子に生えている繊維で、長さ【解答欄(41)】cm以上のものを利用する。【解答欄(41)】cm未満の繊維はそのままでは使わず、再生繊維【解答欄(42)】の原料としている。主成分は麻と同じ【解答欄(43)】で、分子中に -OH 基を持つことから【解答欄(44)】性に優れているのが特徴である。
- (2) 動物由来の天然繊維である絹は、優雅な感触と光沢をもつ長繊維で、1本の長さは【解答欄(45)】mに及ぶ。主成分は【解答欄(46)】とよばれるたんぱく質であることから、【解答欄(47)】によって黄変し【解答欄(48)】を受けやすい。また、繊維断面が【解答欄(49)】形であることが独特の光沢をもたらしている。
- (3) 化学繊維は、絹へのあこがれから 19 世紀後半に発明され、現在では多種多様な開発が進んでいる。例えば、半合成繊維の【解答欄(50)】は、原料は天然の高分子であるが、その化学構造中の -OH 基(水酸基)を -OCOCH₃ 基(アセチル基)に置換することで、【解答欄(44)】性を低下させている。また、融点を持つようになるため、炎中では【解答欄(51)】る。
- (4) さらに化学繊維に分類される合成繊維は、主に原油から製造した繊維である。世界最初の合成繊維は今から約【解答欄(52)】年前に発明されたナイロンで、これはポリアミド繊維の総称である。ナイロンは、同じく合成繊維で世界で最も生産量の多い【解答欄(53)】に比べて伸長しやすく、切れにくく摩擦にも強い特性を生かして【解答欄(54)】や【解答欄(55)】などに用いられることが多い。また、アミド結合をもつことからタンパク質系繊維の絹や【解答欄(56)】と似た性質を示す部分がある。また、ナイロンは、【解答欄(53)】、【解答欄(57)】と合わせて三大合成繊維と呼ばれ、世界の全合成繊維生産量の約 99% を占めている。

[語群]

- ① 保温 ② アセテート ③ 紫外線 ④ 140 ⑤ フィブロイン
⑥ 燃え ⑦ 1,000 ⑧ スーツ ⑨ 麻 ⑩ 1 ⑪ 水着
⑫ 三角 ⑬ 毛 ⑭ 円 ⑮ 100 ⑯ 虫害 ⑰ セルロース
⑱ 吸湿 ⑲ キュプラ ⑳ 10 ㉑ アクリル ㉒ 溶け
㉓ ポリエステル ㉔ 90 ㉕ ストッキング

問題は次のページへ続きます

問 12 次の文は、衣服素材（織物や編み物などの布）に施される様々な一般仕上げ加工や特殊仕上げ加工を説明したものである。それぞれの加工名称を下の語群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。（12問×3点＝36点）

- (1) 主に合成繊維の布に対して、縦横に引っ張った状態で加熱後、冷却して布の形態を安定させる加工。 【解答欄(58)】
- (2) 通常状態ではシステン架橋によって安定構造を保持している毛に対し、還元剤や酸化剤でシステン架橋を切断・再結合させることによって耐久性のある折り目をつける加工。プリーツ加工の一つで、毛に対して行う加工の名称。 【解答欄(59)】
- (3) 精練で除去できない有色の不純物や汚れを、化学的に分解・脱色すること。白物の白度を高めたり、染色布をより鮮明な色にするために行う加工。さらし（晒し）ともいう。 【解答欄(60)】
- (4) 綿織物などの表面の短い毛羽を、電熱やガス火などで焼いて除去し、布の光沢や外観を良くしたり、染色効果を高めたりする加工。 【解答欄(61)】
- (5) 綿布に張力をかけて濃アルカリ液で処理することで、繊維断面を円形に、側面を平滑にすることで布に光沢と強度を与える加工。シルケット加工ともよぶ。 【解答欄(62)】
- (6) 湿潤状態の綿に樹脂液をしみこませて熱処理し、しわを防ぐ加工。洗濯してもアイロンがけが不要でそのまま着られる、という意味が込められている。 【解答欄(63)】
- (7) 毛を石けん液中で大きな力をかけてフェルト化し、毛特有の弾力性や外観を与える加工。 【解答欄(64)】
- (8) 梳毛織物を緊張状態で熱湯に浸し、冷却して織物構造を緻密にし、寸法安定性を高める加工。 【解答欄(65)】
- (9) 綿布に対し、蒸気をあてて非結晶部分の高分子鎖を架橋させることで生地を収縮させて行う防縮加工の一つ。 【解答欄(66)】
- (10) 紡毛織物などの布表面を毛羽立たせる加工。厚地で手触りが柔らかくなり、保温性が向上する。 【解答欄(67)】
- (11) 紡績や織りの準備工程で付着したノリや油剤を界面活性剤などによって除去する加工。布の風合いを向上させ、染色や加工のムラを防ぐ効果がある。 【解答欄(68)】
- (12) 織物に樹脂をしみこませたり、ホルムアルデヒドで架橋を施すことによって、折り目やひだ、縫い目を固定させる加工。着用と洗濯を繰り返しても縮まず型崩れを生じさせない日本で開発された加工技術。 【解答欄(69)】

[語群]

- ① 毛焼き ② 精練 ③ 漂白 ④ 起毛 ⑤ 煮絨（しゃじゅう） ⑥ ヒートセット
⑦ 縮絨（しゅくじゅう） ⑧ サンフォライズ加工 ⑨ ウオッシュアンドウエア加工
⑩ 形態安定加工 ⑪ シロセット加工 ⑫ マーセル化（マーセライズ）加工

問 13 次の文章を読み、書かれている内容がすべて正しいものには○を、1か所でも誤っているものには×を、指定する解答欄に記入しなさい。(5問×4点=20点)

- (1) 防虫剤には、忌避効果(害虫が嫌って避ける)によるものと殺虫効果によるものがある。代表的な衣料用防虫剤である、しょうのう、ナフタレン、パラジクロルベンゼンのような昇華性タイプは、常温で液化することがないため、2種類以上を同時に用いるとより高い効果が期待できる。【解答欄(70)】
- (2) 衣服の黄ばみや黒ずみの原因となる物質(色素)を化学的に分解して無色にすることを漂白という。漂白剤には酸化型と還元型があり、このうち酸化型の塩素系漂白剤には「まぜるな危険」の表示がある。これは、主に酸性タイプの洗浄剤と混ぜてはいけないことを意味している。【解答欄(71)】
- (3) 既製衣料品の品質マークの一つである「ウールマーク」は、日本産の新しい羊毛を100%用い、品質検査に合格した羊毛製品に対してつけられるもので、業界の基準を満たしていることを保証する自主表示である。【解答欄(72)】
- (4) ドライクリーニングは、水の代わりに揮発性有機溶剤を用いた洗濯方法である。日本では塩素系溶剤(テトラクロロエチレン、パークロルエチレン)の使用割合が高く、石油系溶剤が主流の欧米諸国とは異なっていることが特徴である。【解答欄(73)】
- (5) 商業洗濯には、ドライクリーニングのほかにランドリーやウエットクリーニングがある。いずれも温水を使った洗濯方法であるが、ランドリーは常温から40℃のぬるま湯で行うのに対し、ウエットクリーニングは比較的高温(40℃~80℃)で行い主にワイシャツやシーツの洗濯に用いる方法である。【解答欄(74)】

問 14 次の問題の答えを下の数字群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

(2問×5点=10点)

- (1) 洗濯乾燥機を用い、洗濯液量を250リットルとしてワイシャツを洗濯したいと思います。洗剤原液濃度50%の業務用洗剤を用い、濃度を0.2%に希釈して洗濯を行う場合、業務用洗剤は何リットル必要ですか。【解答欄(75)】リットル
- (2) 濃度30%の市販アンモニア水を使って、シミ抜き用の3%のアンモニア水を500グラム作りしたいと思います。市販アンモニア水は何グラム必要ですか。【解答欄(76)】グラム

[数字群]

① 0.1 ② 0.5 ③ 1 ④ 5 ⑤ 10 ⑥ 50